

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市なかよし学園
2	指定管理者	社会福祉法人 なのはな会
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで（5年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 ・令和元年度 5,517人（昨年比105%） ・平成30年度 5,276人（昨年比 89%） ・平成29年度 5,932人（昨年比 98%）
		《事業》 ・児童発達支援事業
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 92,209千円（90,503千円） ・その他市が負担した費用 6,573千円（8,923千円） （ ）は前年度決算額
		《収入》 ・使用料収入 70,995千円（68,884千円） ・その他収入 0千円
6	利用者の声	《実施状況》 ・令和2年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	仕様書に記載されている関係法令及び条例等を遵守しなかったことに起因する、物品の不適切な取り扱いが一部あった。 施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の特別支援学校や児童館と連携し、地域支援の充実に積極的に取り組んでいる。	39/42
II	施設の運営管理体制	施設の運営管理については、事業計画に基づいた運営がなされている。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。	24/24
III	施設・設備の維持管理	物品の管理において、一部不適切な取扱いがあった。 冬は廊下と室内の寒暖差が激しいため、保護者より廊下の暖房設備設置を要望する声があがっているものの、清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	23/24
IV	サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 利用児だけでなく、保護者やきょうだい児支援のニーズの把握に努め、利用者からの要望や相談に適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V	施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、利用者個々の特性に合わせた、効果的な支援を提供するよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>今年度は在園児31名での療育となった。5歳児が約61%、4歳児が約39%と就学直前の児の利用が多い傾向にある。当事業所は、他自治体で支援を受けてきた児が途切れずに継続した支援を受けることができるよう、特に年長児の発達支援の受け止めの場となった。</p> <p>【発達支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な障がい特性を踏まえながらも、小集団の中でそれぞれのこどもがもつ育つ力が相乗効果を発揮できるよう支援を行った。こども達の関心や興味を最大限に引き出せるようなあそびを作り、こどもの動きを丁寧に待ちながら能動性を重視した活動展開を行った。また、今年度は個別支援記録の在り方を検討した。今後、より日々の療育のアセスメントが支援計画へしっかりと繋がるよう意識していきたい。 <p>【家族支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のニーズを的確にとらえることができるよう、クラス、主任、施設長それぞれが役割分担をしながら支援を行ってきた。利用児のみならず、きょうだい児支援の必要性の高まりや母親の就労支援の課題にも今後センターとしてこの課題にしっかりと向き合う必要がある。 <p>【地域支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域相談の中では、特に支援学校や地域の支援学級との連携を中心に行った。支援学校での研修講師や民生委員児童委員連絡会への参加、児童館職員との情報交換の中で、当事業所における専門性をどのように地域へ還元していくべきか改めて検討の余地があると感じている。 <p>【今後の取り組み目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育の質を高めるためにエビデンスに基づく発達のアセスメントプランニングシステム構築 ・あそびの研究及びこどもの生活環境についての学び ・事務業務及び物品管理のシステム化 ・地域相談における相談支援スキルの向上 ・地域相談における専門職派遣の実施

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われた。</p> <p>近隣の特別支援学校や子育て支援施設との連携、情報共有に努め、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。</p> <p>保護者勉強会を開催したり、家族同士が交流できる場を積極的に設けるなど、児童だけでなく家族を含めての利用者処遇の向上に努めている。</p>	A

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課